

学校法人 名古屋電気学園

総合案内

愛知工業大学

愛知工業大学名電高等学校

愛知工業大学名電中学校



Nagoya DENKI
Educational Foundation

ごあいさつ

社会のニーズに対応した教育・研究・社会貢献により、 工科系総合学園としての歩みを続けています。

学校法人名古屋電気学園の歴史は、1912年(大正元年)、工業化社会の到来を予測し、そのエネルギー源として「必ず電気の時代が来る」と確信した後藤喬三郎先生によって「名古屋電気学講習所」が創立されたことに始まります。その後、講習所は「名古屋電気学校」として認可を受け、3年制の本格的な学校としてスタートを切り、2022年には創立110周年を迎えることができました。創立以来、一貫して「企業の第一線で活躍する技術者の育成」をめざし、現在では愛知工業大学をはじめ、名電高等学校、名電中学校の3つの学校を擁する工科系総合学園としての歩みを続けています。

学園は、これまでに14万人を超える卒業生を社会へ送り出し、地域社会ひいては日本の発展に貢献してきました。これからも、「ものづくり教育」を柱に、チャレンジ精神を持ち創造力と豊かな人間性を兼ね備えた人材を一人でも多く育てるよう、社会のニーズに対応した教育・研究・社会貢献を推進し、「選ばれる学園」「社会から必要とされる学園」となるよう努めてまいります。関係各位の今後一層のご指導、ご支援を心からお願いいたします。



学校法人 名古屋電気学園
理事長

後藤 泰之

学園構成図

名古屋電気学園 「創造と人間性」を教育モットーに3つの学校を通じて人材育成に専心

愛知工業大学

3学部7学科14専攻
大学院に2研究科を設置

愛知工業大学 名電高等学校

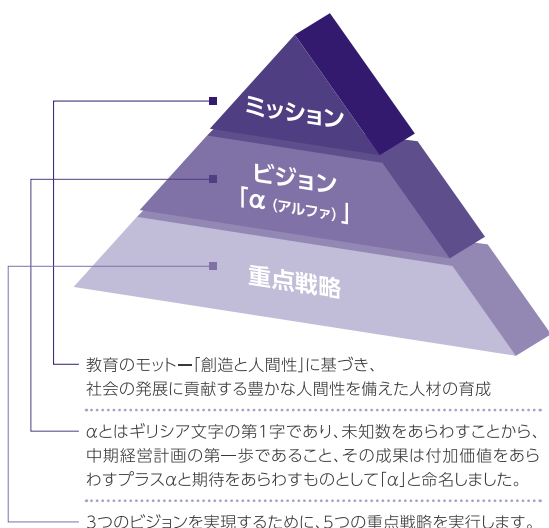
普通科、科学技術科、情報科学科の
3つの科をもつ男女共学校

愛知工業大学 名電中学校

「誠実・勤勉」を校訓とする
中高一貫教育の男女共学校

経営方針

法人全体の中期経営計画の柱となる学園のミッション、ビジョン、重点戦略。



ビジョン「α」3つの柱

教育ビジョン	産業界・教育界の要望を踏まえ、ものづくりを支える、質の高い教育を確立し、コミュニケーション能力の高い、問題解決力をもつ人を育成する
研究ビジョン	研究支援体制を充実させ、創造的研究に取り組み、産業界に評価される研究成果を発信する
社会貢献ビジョン	地域のニーズに対応して、地域社会と協調を図りながら、教育・研究成果を地域の産業、文化の発展・活性化に貢献する

ビジョン「α」実現のための5つの重点戦略

入学戦略	学生・生徒の確保(確実な入学者受入)
教育改革・学生支援戦略	学生・生徒の満足度を向上させる組織的教育システムの構築
地域連携戦略	名古屋・豊田・瀬戸エリア他との地域連携推進
経営基盤強化戦略	収支の適正化
キャンパス整備戦略	教育研究環境の充実(魅力あるキャンパスづくり)

名古屋電気学園の歩み

1912年	9月	名古屋電気学講習所 開設(大正元年)
	12月	(創立者 後藤喬三郎、名古屋市中区矢場町)
1916年	6月	私立名古屋電気学校 設置認可
1920年	1月	名古屋市中区新栄町に校地移転
1925年	1月	私立名古屋電気学校を名古屋電気学校と改称
1937年	4月	創立者 後藤喬三郎逝去、後藤鉦二継承
1947年	4月	名古屋市中種区若水町の運動場敷地内に校舎新築、
		昼間部授業開始(中区新栄町の校舎は夜間部専用となる)
1947年	4月	名古屋電気中学校 開校(名古屋市中種区若水町)
1948年	10月	名古屋電気中学校を名電中学校と改称
1949年	2月	財団法人後藤学園 設立(理事長 後藤鉦二)
	4月	名古屋電気高等学校 開校(名古屋市中種区若水町)
	12月	名古屋電気学校 廃止認可
1951年	3月	財団法人 後藤学園を学校法人名古屋電気学園に組織変更
1954年	4月	名古屋電気短期大学 開学(名古屋市中種区若水町)
1959年	4月	名古屋電気大学 開学(名古屋市中種区若水町)
		名電中学校を名古屋電気大学附属中学校と改称
1960年	4月	名古屋電気大学を愛知工業大学と改称
		名古屋電気高等学校を名古屋電気工業高等学校と改称
		名古屋電気大学附属中学校を愛知工業大学附属中学校と改称
1965年	7月	名古屋電気短期大学を愛知工業大学短期大学部と改称
1966年	4月	愛知工業大学大学院工学研究科修士課程 設置
	10月	愛知工業大学を西加茂郡猿投町(現・豊田市八草町)に
		移転開始(1974・昭和49年3月移転完了)
1972年	1月	名古屋電気学園理事長・愛知工業大学学長 後藤鉦二逝去
		後藤淳 名古屋電気学園理事長・愛知工業大学学長に就任
1976年	4月	名古屋電気工業高等学校を名古屋電気高等学校と改称
1978年	8月	愛知工業大学短期大学部 廃止
1980年	12月	愛知工業大学、中国の南京工学院(現・東南大学)と姉妹校提携
1983年	4月	名古屋電気高等学校を愛知工業大学名電高等学校と改称
1992年	4月	愛知工業大学大学院工学研究科博士課程 設置
		愛知工業大学情報電子専門学校 開校(豊田市陣中町)
	11月	愛知工業大学総合技術研究所 開設

1998年	4月	愛知工業大学昼夜開講制 導入
1999年	4月	愛知工業大学耐震実験センター 開設
2000年	4月	愛知工業大学経営情報科学部 設置
2001年	8月	愛知工業大学名電高等学校 新校舎完成
2002年	4月	愛知工業大学名電高等学校情報科学科 設置
2003年	4月	愛知工業大学みらい工房、学生支援センター、
		インターンシップ支援センター 開設
2004年	4月	後藤淳 名古屋電気学園総長に就任
		後藤泰之 愛知工業大学学長に就任
		愛知工業大学2学部6学科12専攻に学科再編
2005年	4月	愛知工業大学大学院経営情報科学研究科 設置
		愛知工業大学本山キャンパス完成
		愛知工業大学地域防災研究センター 開設
		愛知工業大学「21世紀・万博大学」を開学、愛知万博に参画
2007年	4月	愛知工業大学エコ電力研究センター 開設
		愛知工業大学名電高等学校 専門学科を再編、
		科学技術科を新設
2009年	4月	愛知工業大学附属中学校 新校舎完成
		愛知工業大学3学部7学科14専攻に学部・学科再編
2010年	4月	愛知工業大学 自由ヶ丘キャンパス完成
2012年	11月	淳和記念館開館
		学園創立100周年を迎え、記念式典を挙行
2015年	4月	愛知工業大学工学部に土木工学科防災土木工学専攻設置
2016年	5月	後藤淳 名古屋電気学園理事長を退任、学園長に就任
		後藤泰之 名古屋電気学園理事長に就任
		瑞若スポーツセンター(名古屋市中種区)、
		後藤淳記念球場(春日井市熊野町) 完成
2018年	3月	後藤淳 名古屋電気学園学園長を退任
	4月	愛知工業大学附属中学校を愛知工業大学名電中学校と改称
	6月	名古屋電気学園総長 後藤淳逝去
2022年	4月	愛知工業大学エコ電力研究センター移設
	11月	学園創立110周年
2025年	3月	愛知工業大学情報電子専門学校廃校



創立者
後藤 喬三郎



私立名古屋電気学校
大正5年頃の校舎



初代理事長
後藤 鉦二



1971年
後藤鉦二初代理事長
によるピンポン外交
当時の周恩来首相と会談



1980年
中国南京工学院
(現・東南大学)と
姉妹校提携調印



2012年
名古屋電気学園
創立100周年記念式典



八草キャンパス

ものづくりで未来を変える 工学部・経営学部・情報科学部の工科系総合大学

本学は、1959年に「自由・愛・正義」の建学の精神の下、中部地区初の工科系単科大学として誕生して以来、実学教育に徹し、ものづくり産業の第一線で活躍できる人材を育成してきました。名古屋からのアクセスも便利な都市型の自由ヶ丘キャンパスでは、経営学部経営学科経営情報システム専攻および大学院経営情報科学研究科の学生が、ものづくり大学ならではの実践的な経営情報科学を学んでいます。緑豊かで広大な八草キャンパスには、国内最大級の耐震実験施設「耐震実験センター」、DNA組換え室や細胞培養室を備えた「バイオ環境化学実験棟」など高度な研究施設が充実しており、実学・実践を重視した学びが展開されています。2024年に完成した「14号館」は、情報科学部の拠点として最先端のICT環境を整備し、AIやIoT、データサイエンスなどの先端技術を学ぶための教育・研究を推進しています。

これからも本学は、学生のチャレンジ精神を全面的に支援し、新たな時代にふさわしい実学教育のさらなる充実を目指してまいります。



自由ヶ丘キャンパス



八草キャンパス「14号館」

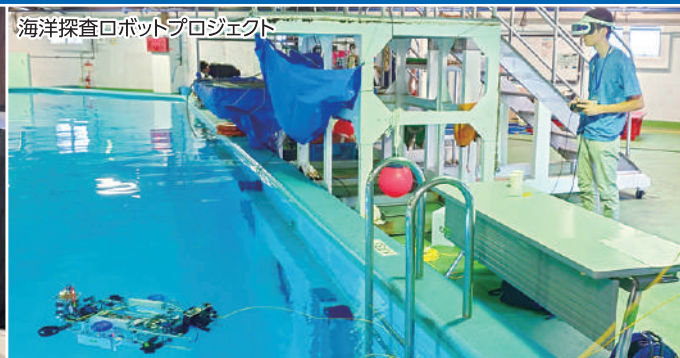
構成

Organization

工学部	電気学科	電気工学専攻/電子情報工学専攻	Faculty of Engineering	Department of Electrical and Electronics Engineering	Electrical Engineering major Electronics and Information Networks major
	応用化学科	応用化学専攻/バイオ環境化学専攻		Department of Applied Chemistry	Applied Chemistry major Biomaterials and Environmental Chemistry major
	機械学科	機械工学専攻/機械創造工学専攻		Department of Mechanical Engineering	Mechanical Engineering major Mechanical Creative Design major
	社会基盤学科	土木工学専攻/都市デザイン専攻		Department of Civil Engineering	Civil Engineering major Infrastructure design major
経営学部	建築学科	建築学専攻/住居デザイン専攻	Faculty of Business Administration	Department of Architecture	Architecture major Architectural Design major
	経営学科	経営情報システム専攻 スポーツマネジメント専攻		Department of Business Administration	Management and Information Systems major Sports Management major
情報科学部	情報科学科	コンピュータシステム専攻 メディア情報専攻	Faculty of Information Science	Department of Information Science	Computer Systems major Media Information major
	大学院工学研究科	博士前期課程 電気電子工学専攻/材料化学専攻 機械工学専攻/建設システム工学専攻		Master's Programs	Electrical and Electronics Engineering Course Materials Chemistry Course Mechanical Engineering Course Construction Systems Engineering Course
大学院経営情報科学研究科	博士後期課程	電気・材料工学専攻 生産・建設工学専攻	Graduate School of Engineering	Doctoral Programs	Electricity and Materials Engineering Course Production and Construction Engineering Course
	博士前期課程	経営情報科学専攻		Master's Programs	Business Administration and Computer Science Course
	博士後期課程	経営情報科学専攻	Graduate School of Business Administration and Computer Sciences	Doctoral Programs	Business Administration and Computer Science Course



RoboCupプロジェクト



海洋探査ロボットプロジェクト



美浜ミニバイク6時間耐久レースへの参戦



レスキューロボット実用化プロジェクト



災害対応ロボット研究プロジェクト



AITアイデアクリエイターズ



ジャパン・スチール・ブリッジ・コンペティション

学生チャレンジプロジェクト

学生が自ら企画した優秀な企画に対し大学が助成を行い、学生のチャレンジを支援する愛工大独自の制度。挑戦を通して学びや研究を実践し検証できると同時に、様々な社会経験に触れる貴重な機会になっています。



宇宙開発プロジェクト



学生による空き空間の活用を通じたプレイスメイキング



進化計算コンペティションのためのモジュール開発

教職協働による充実したキャリア支援体制

本学では、学生一人ひとりが自身の能力や適性に合った進路を選択できるよう、キャリアセンターと各専攻のキャリア支援担当教員が緊密に連携し、きめ細やかな就職支援を行っています。

キャリアセンター主催の就職支援プログラムに加え、本学の後援組織「愛名会」会員企業をはじめ、年間1,100社以上の企業と出会う学内企業研究会など、多彩な支援策を展開し、学生の就職活動を力強く後押ししています。

学生自身の努力に加え、求人企業・団体による力強い支援、そして教職協働による手厚いサポート体制が相まって、2年連続全国1位※の快挙を成し遂げることができました。

今後も、学生の主体的な挑戦を促し、一人ひとりが納得のいく進路を実現できるよう、教職員が一丸となって取り組んでまいります。

【実就職率】2024年3月卒業生

2年連続
全国1位

大学全体99.1% (大学院修了生を含む)

工学部	99.3%
経営学部	97.9%
情報科学部	98.9%
大学院	99.0%

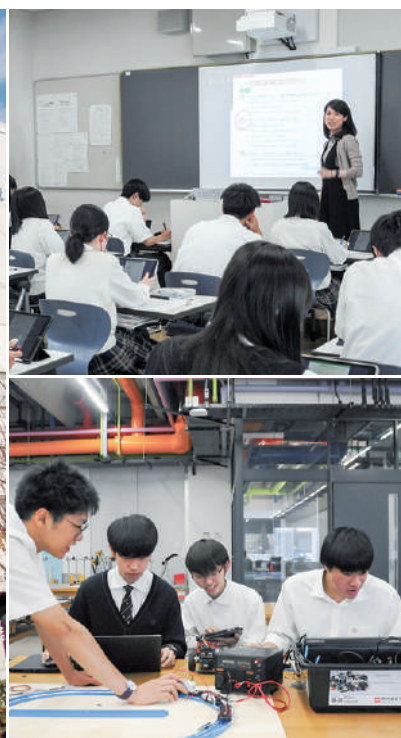
※実就職率(%)=就職者数÷[卒業者数-大学院進学者数]×100
※2024年7月25日 大学通信ONLINE 2024年実就職率ランキング(大学通信調べ)



キャリア支援担当教員による熱心なサポート



1,300社超の愛名会会員企業による強力なバックアップ



充実した環境で、「好き」を学びにつなげる3年間。

「誠実」・「勤勉」が本校の校訓です。「一握りのエリートより企業(実社会)の第一線で活躍する真の技術者を育てたい。その真の技術者にとって必要なものは、ものごとに対するひたむきな情熱(誠実)と粘り強い精神力(勤勉)である。」という創立者の思いを受け継ぎ、社会的連帯感を持ち、心豊かで健康な、実践力のある生徒育てます。また、総合的な探究の時間「Meiden Quest」などを通して、主体的に学び姿勢を育むとともに、変化しつづける社会に対応できるよう「答えのない課題に向き合う力」を養います。

普通科は学習ニーズや進路目標等に応じてコースに分かれており、基礎・基本の定着から応用力の育成まできめ細かい学習支援を行い、進路実現をサポートします。科学技術科・情報科学科は愛知工業大学との高大7カ年接続STEAM教育を行い、持続可能な未来を「想い」「描き」「創る」力を育みます。また部活動も活発で、生徒一人一人が自分の「好きをキワめる」ことができます。

構成

Organization

普通科					GENERAL DEPARTMENT					科学技術科・情報科学科						SPECIALIZED DEPARTMENT	
1年	特進・選抜コース		普通コース		スポーツコース	中高一貫コース					1年	ミックスクラス					情報科学系
											2年	科学技術系					
2年	特進コース		選抜コース		理系コース	文系コース	3年	エネルギー・AIの分野	エレクトロニクス・システムデザインの分野	ロボット・マテリアルの分野	環境バイオ・デジタルアーキテクトの分野	立体造形・デジタルアーキテクトの分野					

特色

Distinctive Feature

▶ Meiden Quest(探究活動)

実社会や実生活の中から課題を設定し、様々な角度から検証することによって考察を深め、自分の力で最適解を見つけます。学年ごとに「自己発見」「自己練磨」「自己実現」を目標に、プレゼンテーションや論文作成にも取り組みます。



▶ 高大連携プログラム

専門学科は、企業の方や大学の先生から直接学ぶ「先端科学技術入門」、愛知工業大学での体験学習を「Meiden Labo in AIT」、チームで課題に挑戦する「課題研究」など独自のプログラムがあり、楽しみながら学べます。



▶ ICT教育

学習用タブレット端末や各教室に整備した電子黒板機能付きプロジェクターを効果的に活用し、問題解決に必要な思考力・判断力・表現力を養います。情報科学科ではCGやプログラミングなど、より専門的なスキルを身に付けます。





じっくり見極め、 しっかり伸ばす6年間「男女共学中高一貫校」

主要科目の時間をたっぷり取り、私立校ならではのバラエティ豊かな副教材を併用して6年間をフルに使ったカリキュラムで学力を養成する「男女共学中高一貫校」です。学内にとどまらず、中高大の学園ネットワークを活かし、教科書の範囲を超えた授業で自然科学に対する興味関心を高めます。大学の教授陣による科学を実体験する「サイエンスラボ」、経済界で活躍する方を講師に迎えての特別講義などに触れ、大学での学びや社会の仕組み、学びや職業に対するイメージを早いうちから感じて進路決定のための視野を広げます。開放的で広々とした実習室「オープンラボ」は美術や技術で利用。様々なイベントでも活用されます。ネイティブ教員によるオールイングリッシュの授業に加え、夏休みにはオーストラリアの中高一貫校への短期留学で語学研修やホームステイを体験できます。さまざまな連携教育で生徒の未来を拓きます。

教育ステージ

EEducationall stage

中 学			高 校		
1年	2年	3年	4年	5年	6年
入門期 自分を見つめて	養成期 職業観の育成 仕事研究		発展期 大学を知る・進路目標の具体化		完成期 目標完成期
			進学クラス	進学クラス 文系・理系	進学クラス A 進学クラス B
			特別進学クラス	特別進学クラス 文系・理系	

特色

Distinctive Feature

▶ 国際理解教育

生徒の成長段階に合わせた国際理解教育を実施。ワークショップや、国内外の英語研修を通じて、スピーチ技術も含めた実践的な語学力を育成します。国際社会の場で通用する英語力の獲得を目指します。



▶ 淳和記念館

「淳和記念館」は学校法人名古屋電気学園創立100周年を記念して建設されました。理科室、オープンラボ、音楽室、体育館、資料館、屋上にはバスケットやテニスのコートがあり部活動で利用しています。



▶ 社会とつながる連携教育

第一線で活躍する方々の特別授業や職場体験により「社会で必要とされる人材像」を、また大学の教授陣の特別講義では大学で学ぶ魅力を学びます。多彩な連携が視野を広げ、進路選択の可能性も広がります。





<https://www.nagoyadenki.jp>



<https://www.ait.ac.jp>



<https://www.meiden.ed.jp>



<https://www.aitech-j.ed.jp>

学校法人 愛和学園 (姉妹学園)

あいわ幼稚園

<https://www.aiwayouchien.ed.jp>

